

ドクターズ ガイド

時事通信出版局
健康医療情報班
ドクターズガイド編集部

治せる医師を本気で探す

身近な慢性疾患を中心とした72の疾病について、各専門学会のトップやガイドライン作成者、その分野をリードする専門医に聞き取り調査を行い、疾病の解説と医師選びのポイント、国内を代表する861人の専門医を紹介。病気を本気で治したい人必見の医師ガイド。

全国
861人
の専門医を
紹介



ISBN978-4-7887-1084-9

C0077 ¥1000E



9784788710849

定価：本体 1,000 円 + 税

時事通信社



1920077010001

収録されている疾病名

狭心症・心筋梗塞、不整脈、下肢静脈瘤、高血圧、気管支喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、肝炎、便秘、過敏性腸症候群、痔、脳卒中、片側顔面痙攣・三叉神経痛、慢性頭痛、てんかん、認知症、慢性疲労症候群、慢性疼痛、慢性腎臓病、糖尿病、甲状腺疾患、膠原病・リウマチ、肥満症、痛風、うつ病、不眠症、パニック障害、摂食障害、PTSD、アトピー性皮膚炎、真菌症(水虫)、脱毛症、多汗症、熱傷・ケロイド、ニキビ、美容皮膚科、美容外科、アンチエイジング、中耳炎、慢性副鼻腔炎、突発性難聴、花粉症、睡眠時無呼吸症候群、めまい、白内障、ドライアイ、屈折矯正(レーシック)、眼瞼痙攣、口臭症、顎関節症、顎変形症、前立腺肥大症、ED(性機能障害)、性感染症、子宮内膜症・子宮筋腫、婦人科がん、乳がん、不妊症、ハイリスク妊娠・出産(周産期疾患)、更年期障害、女性泌尿器(尿失禁)、冷え症、小児科疾患、小児外科疾患、発達障害、在宅医療、腰痛、変形性膝関節症、骨粗鬆症、外反母趾、スポーツ整形外科、肩こり

WEB、スマホアプリ連動
詳しい情報は
<http://www.dr-guide.net>





下肢静脈瘤

●病気・症状

下肢静脈瘤は、静脈内の血管の「逆流防止弁」が壊れることによって起こる。女性に多く、30歳以上では60%以上発症すると見られる。足の静脈の本幹や枝分かれする箇所が瘤のように太くなり、血管が浮き出る「伏在静脈瘤」が最も多く、そのほか伏在静脈瘤より末端部分にできる「側枝静脈瘤」、細い皮下静脈が網目状に広がる、直径2～3mmほどの「網目状静脈瘤」、青色や赤色で直径1mm以内の細かい静脈瘤が、皮膚の内側にクモの巣のような状態で広がって見える「クモの巣状静脈瘤」がある。主な症状は、だるい、重い、疲れやすい、ほてる、痛い、つる（こむら返り）、むくむ（浮腫）、かゆみなど。ただ、ほとんどの患者が「見た目の悪さ」の解消を望んでいる。

●検査・治療

診断を行う上で重要なのが足の超音波検査。血液の逆流の有無を調べる。また手術前検査として、足の深部を走行している重要な血管（深部静脈）に閉塞等の異常がないかを調べる下肢静脈造影検査を行う施設もある。

主な治療法は、外科的手術、レーザー治療、硬化療法。医療用弾性ストッキングを着用する圧迫療法は他の治療のサポート的に広く行われている。近年脚光を浴びているのはレーザー治療だ。細いレーザーファイバーを血管の内腔に挿入して静脈瘤を閉塞させたり、多様な波長の光を静脈瘤がある部分に照射したりすることで、肌を傷めずに異常血管のみを消失させる。従来からの、異常血管を除去するストリッピング手術と比べ「低侵襲（体への負担が少ない）」であり「治療による跡が目立たない」などメリットは大きい。しかし、現在保険適用されているのは初期タイプの980nmレーザーのみ。高性能のレーザーによる治療は自費診療になる。硬化療法は静脈瘤を起こしている血管に薬（硬化剤）を注射して血管自体を固める。固まった血管は、次第に萎縮して消失し、手術のように傷を残すこともなく低侵襲だが、大きな静脈瘤にはあまり有効ではなく、再発する可能性が大きいといったデメリットもある。

●ドクター・病院選びのポイント

治療法にはそれぞれメリットとデメリットがある。治療費なども念頭に、いい情報もネガティブな情報も正直に分かりやすく伝えてくれる、熟練した血管外科医を選びたい。そのためには、ホームページ等で症例数や患者の満足度等を積極的に公開しているかどうか参考になる。

下肢静脈瘤

あほよしひさ

阿保義久 院長

北青山Dクリニック

東京都渋谷区神宮前3-7-10 AKERAビル 1F・B1F

☎03-5411-3555

血管外科、脳神経外科、消化器外科、形成外科、循環器内科、皮膚科、婦人科、小児科



医師の紹介

血管外科医のスキルを生かし、下肢静脈瘤の日帰り根治手術のノウハウを日本で初めて確立。2000年10月以来4000脚以上を執刀した。高い安全性と有効性が評価され、今では全国の医療機関で同治療が広がっている。最先端治療法の導入にも積極的で、医療用レーザーを用いた先進の血管内治療の実績は、ここ数年は年間1000脚程度。治療の根治性・安全性を最優先し、満足度の高い医療を提供している。その証しは患者への術後アンケートで95%が満足と回答していることから読み取れる。

診療にあたって

診察・治療は要予約(電話受付)。下肢静脈瘤のレーザー治療は保険治療も行っているが、最長波長のレーザー治療は自費診療。初診の診察時間は通常1時間ほど。